

第 2 回 南砺市行政改革懇談会 会議メモ

平成 17 年 8 月 23 日(火)

午後 2:05~4:14

福野庁舎 講堂

出席者

懇談会委員

川合友之、斉藤昭一、藤井 貢、清水壽一、北田正雄、塚田久俊、寺井孝夫、中藪淳一
長尾治明、石黒厚子、奥村晃治、麻生 博、石崎直樹、岩田繁子、野村玲子、野原一司

行政改革推進本部

山本収入役、梧桐教育長、向川市長公室長、上坂企画総務部長、大和民生部長
堀産業経済部長、畑建設部長、平本議会事務局長

事務局

三谷総務部次長、青島行政管理室長、石崎主幹、小森主査、 以上 28 名出席する

【開会宣言】

【収入役あいさつ】

市政が誕生して約 10 ヶ月が過ぎ、委員各位には格別のご理解とご協力を賜り、感謝申し上げたい。
今日は前回の結果をふまえ、大綱策定の進め方や大綱(素案)について協議し、ご意見をいただきたい。

【長尾会長あいさつ】

進行は、私の方で進めさせていただくので委員の皆さんのご協力を願いたい。本日は大綱(素案)の
主要項目の内、「合併当初の体制から再構築する簡素で効率的な行政運営の推進」について議論して
いただきたい。

【報告事項に入る】

事務局説明

第 1 回南砺市行政改革懇談会 会議メモを市のホームページに掲載していることのご了解をもらう。

【協議事項に入る】

事務局説明

- ・大綱策定の進め方について
- ・大綱(素案)について
- ・添付資料

について説明

【意見交換に入る】

会長 A3 の横長資料の中で、左側の主要事項は大綱(素案)として掲載される。中の検討課題と
備考は掲載されない。本日は「合併当初の体制から再構築する簡素で効率的な行政運営の推
進」の(1)事務事業の見直しから(5)行政サービスの向上までの 5 の分野について議論をして
いただきたい。どの分野からでもよいので意見をいただきたい。

委員 P2 の(2)民間委託等の推進の文中「サービスの向上を図るよう検討」を「サービスの向上を図
る」に、P5 の(5)行政サービスの向上の文中「サービスについても検討」を「サービスについて
も図る」に表現を変更できないか。職員のやる気も入れるべきではないか。

- 事務局 検討し次回に報告したい。
- 委員 P3(3)行政組織・機構等の見直し スクラップ・アンド・ビルドの項目の中で、検討課題「診療所の整理・統合」を掲載する意味は。
- 事務局 医療分野は大変難しい面もあるが、総合的には行革の対象にしてメスを入れるべきかと考えている。
- 民生部長 南砺市内には4診療所ある。この地域を無医村にはしないが、このままで良いのか疑問は残る。今後検討して行きたい。
- 会長 「診療所の整理・統合」の表現の仕方は「診療所の適正配置」が良いのでは。事務局で検討して欲しい。
- 副会長 新市の建設計画は旧8町村の減変緩和措置を引き継いだ計画だ。新しい新市の夢を描く総合計画が必要だ。何をつくり何を削るのか解らない。
- 事務局 総合計画は18年3月までに作成したい。行革は総合計画と連動しているが、行革大綱があつての総合計画である。何をつくり何を削るのかについては、限られた予算の中で節減も考えながら作成して行かねばならない。すでに役割が終わったものもあるのではと考えている。それを懇談会で検討して欲しい。市も財政計画を基に何をつくるのか検討して行きたい。
- 会長 P1(1)事務・事業の見直し 「行政が実施すべき施策の選択や重点化」については、旧8町村の延長で総合計画を考えるのでは合併の意味がない。総合計画や行政改革大綱で議論し総合チェックもあって良いのでは。
- 委員
- ・合併して良い市になるには方向性が必要、そしてお互い相互理解が必要。そのためには旧町村の特長を生かし、姉妹都市的な感覚で交流できないか。しかし、市民との情報交換は、まだ徹底されていない。
 - ・合併後、市の体育館や福祉会館等の使用料金の均一化が図られてきたが、サービスの均一化等のレベルでなく、もう少し上のレベルで努力して欲しい。
 - ・吉江中学校は30人学級で生徒が少なくなり、授業の面からは良い方向である。反面、部活動が成り立たなくなっている。部活動も教育面では大切であり、部活動が出来なくなることは深刻な問題である。部活動だけでも他校と統合できないか。
- 委員 南砺市をつくるビジョンがあるべきではないか。合併したことで無駄や重複しているものもあるはず。新しい南砺市をどうやってつくるのか、行政改革は総合計画とリンクすべきだ。
- 委員 地域審議会の意見が、今後どのように総合計画等にリンクするのか位置づけが解らない。
- 会長 総合計画と行政改革大綱はリンクすべきで、どちらも考慮すべきである。市の職員で両方関係している方もいると思うので報告等ができないか。
- 事務局 総合計画と行政改革大綱はリンクすべきものと考えている。合併時の「新市合併まちづくり計画」は南砺市において総合計画に引継がれるものと考えている。今後はアンケートの実施を行う予定となっており、その内容も踏まえ計画を固めて行くものと思う。総合計画の内容は、2月頃の第5回懇談会ぐらいで中間報告できないかと考えている。
- 市民との相互理解についても、もっと深めて行きたい。方法としては、市政バスを実施し各施設の見学や広報紙の発行・市のホームページ掲載等、また、市議会議員さんによるイベント参加や地元での市政報告などで相互理解を図りたい。e_fuk3.comの活動にも期待している。
- 委員
- ・行政改革大綱と総合計画は、今後地域審議会とどのようにかわるのか。
 - ・バス運行やスクールバスの地域の交通計画はどのようになっているのか。

- ・住民ニーズに沿った交流事業の「点検」ではなく「推進」ではないか。行政だけに頼ると無理がある。今後は民間団体等に任せて「推進」する方向もあるのでは。
- 事務局
- ・地域審議会は新市建設計画等に対して審議する役割がある。よって総合計画の時も意見を聞きたい。
- ・バス運行はコミュニティバスの運行計画を今年度策定して、効率よく運行して行きたい。
- ・市の交流事業は国内・外で約 50 事業実施している。委員のご意見のとおり、今後は整理し、市民の皆さんといっしょに行う交流事業や市民の皆さんが行う交流事業などに分けて検討すべきと考えている。皆さんの意見を頂きたい。
- 委員
- 大綱は総花的になることはやむを得ないと思うが、懇談会で全部オールマイティに行うには無理がある。今後この懇談会を進めるにあたり、もっと絞った、突っ込んだ話ができないか。また、分野別に分担する方法もあるのではないかな。
- 会長
- 話し合うテーマが散漫になり過ぎているのではないかな。懇談会の中で、委員の分担作業もあるのでとの意見ですが、事務局と検討したい。
- 行政改革大綱についてのイメージが、具体的な事例について策定すべきであるという委員の方もあれば、抽象的な表現であるが方針を示せばよいという委員の方もおられるようだ。大綱策定に対するコンセンサスが得られていないような気がする。
- 委員
- 進め方は、まずは行政改革大綱をつくる。そのためには全体的な組立てが必要であり、その後実施計画をつくり、その実施計画の中から重点的に行政改革を実施し、具体的なものに踏込んで行くのだろう。その時は分担作業もあるのではないかなと思う。そのためには、今後の懇談会では大綱の骨格をつくり上げるための議論が必要ではないかな。皆さんはもっと行革について早く具体的に踏込んで行きたい思いがあるが、事務局としてはまずは骨格をつくりたいのだと思う。
- 行政改革は既存システムを壊して新しい形に統合するもの。総合計画はつくるもの。壊すものとつくるものは表裏一体のものである。他自治体の総合計画は将来を見据えた厳しい計画をつくる傾向がある。南砺市がつくる総合計画には、この懇談会の厳しい意見を踏まえながらも、市民のサービス向上のための計画も採り入れ策定されるものだと思う。
- 資料の中身については P2 の(2)民間委託等の推進の文中で「公の施設管理については～指定管理者制度を導入し、民間業者～を任せることとします。」と記載しているのですべて任せてしまうと取られる。施設の中には設置義務の施設もあり、直営で運営していくものもあるので、全部民間で行うのではない書き方があるのでは。
- 民間委託の推進では、公の施設には役割を終えて廃止するもの、統合するものもあり、これらがどこに記載されて行くのか。また、項目の分け方については、P1 の「(1)事務事業の見直し」と P2 の「(2)民間委託等の推進」にも事務事業があり、事務事業は事務事業でひとつにまとめて記載する書き方があるのでは。
- 会長
- 事務局の考え方は、委員さんが言われた考え方です。今後の進め方は事務局と相談し、委員の皆さんのコンセンサスをとり進めたい。
- 民間委託等の記載の仕方は整理し検討して行きたい。
- 委員
- 限られた時間の中で、もっと効率的な話し方が出来ないか。先に資料がもらえるので、事前に質問をもらい、懇談会当日、文書化して事務局から説明を受ける方法もある。
- 副会長
- すべて民間委託が本当に良いのか。民間で出来ないことを行政にお願いしている。民間では

採算が悪ければしない。行政はサービスを均等に提供するところである。今こそ知恵を出してもらいたい。

委員 ある市の市長は、財政が厳しいのは寝たきり老人の医療費が多い事をつきとめ、その対策として寝たきりにならないように施設を整備した。また、職員も増やしたりして取り組んだところ、数年後には老人の医療費を抑えることが出来た。ただ職員等を減らすのではなく、何に多く支出しているのかをつきとめることも大事である。

会長 総合計画等で市の方向性が定まれば、民間委託で行うのか公で直営で行うのか等の価値判断が出来るのは。新市でのやる事業、続ける事業、やめる事業等を懇談会に諮れば、今後の目標も見えてくるのではないか。

今後の進め方は事務局と検討し、第3回は消化不良にならないよう努めたい。

次回は10月4日開催を確認。

【閉会宣言】